



2019年9月13日

各位

上場会社名 黒谷株式会社
 代表者 代表取締役社長 黒谷 純久
 (コード番号 3168 東証一部)
 問合せ先責任者 代表取締役副社長 井上 亮一
 (TEL 0766-84-0001)

2019年8月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年9月13日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2019年3月15日に公表いたしました2019年8月期(2018年9月1日～2019年8月31日)の連結業績予想数値を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年8月期通期連結業績予想の修正(2018年9月1日～2019年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	51,146	332	291	190	13.41
今回修正予想 (B)	50,670	△242	△289	△243	△17.10
増減額 (B-A)	△476	△574	△580	△433	
増減率 (%)	△0.9%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	56,791	745	676	462	32.29

2. 修正の理由

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、前年度後半からの米中貿易摩擦が長期化したことで、米国経済は底堅い動きをしたものの、中国をはじめ世界経済全体では減速の動きが強まりました。特に7月までは、貿易交渉合意期待への思惑から6,000ドルを挟んだボックス圏で推移していましたが、8月に入って米中双方による報復関税の応酬となり一気に摩擦が激化、加えて英国の「合意なき離脱」への傾斜や、各地での地政学的リスクの高まりもあり不透明感が一段と強まりました。

このような外部環境により、当社グループの主力取扱商品価格に影響を及ぼす銅価格は、低価格水準でのみみ合いの動きから年度末にかけて底割れし、LME銅Cash価格で2年2か月ぶりの安値(5,653ドル)を付けたことにより、期中平均LME銅Cash価格は6,097.8ドル(前年比9.4%減)、円ベース期中平均価格でも673.6円(同9.3%減)となり年度最安値で年度末を迎えました。

この結果、販売数量につきましては前年比でインゴット、スクラップともほぼ横這いにて推移致しましたが、前述の市況低迷による影響から利鞘縮小、在庫評価損失の発生などにより利益面では、売上総利益でインゴットが前年比△68.7%減益、スクラップも同△36.1%減益となり、営業利益段階で赤字計上となる見込みです。

以上